

第1章 日本市場の見直しとグロース市場の課題について

第2章 グロース市場の現状

第3章 グロース市場改革の目的と求められる機能

第4章 金融行政、市場機能改革の取組と市場仲介者の役割

グロース市場の見直しについて

グロース市場（2022年4月～）

高い成長可能性を実現するための事業計画及びその進捗の適時・適切な開示が行われ一定の市場評価が得られる一方、事業実績の観点から相対的にリスクが高い企業向けの市場

上場維持基準

事業計画

高い成長可能性の健全な発揮を求める観点から上場10年経過後40億円以上

流動性

流通株式数1,000単位以上、流通株式時価総額5億円以上など

ガバナンス

上場会社としての最低限の公開性として、流通株式比率25%以上

グロース市場の課題

資金調達・成長投資

調達も投資も不足して大きく成長していない

機関投資家の参入

規模と流動性から参加しにくい。機関投資家間の橋渡しが必要か

情報開示・IR等

ベストプラクティスの共有やスクールなどが必要か

成長の動機付け

役員・従業員にインセンティブを与えることが重要

非上場領域・新規上場の在り方

非上場株式流通市場の整備やTOKYO PRO Marketの活用

新しい資本主義のグランドデザイン及び実行計画（政府）

成長性に関する指標の導入を含めた上場維持基準の在り方などの制度整備。上場廃止要件を厳格化。創業ベンチャーが上場後も資金調達を行い易くするための取組み